



今月の表紙
ツール・ド・NIKKO



9月15日(日)、ツール・ド・NIKKOが開催されました。

このイベントは今年で3回目を迎えるサイクリングイベントで、順位を競わず、交通ルールを順守しながら初秋の日光を走行するものです。

当日は台風18号の影響による大雨のため、参加者の安全を考慮し、約48kmの日光サイクリングコースのみの開催となりましたが、1,146人が参加しました。

参加者たちはプロ自転車ロードレースチーム宇都宮ブリツェンが監修した日光杉並木などのコースを走行し、途中のエイドステーション(休憩所)では、蕎麦などに舌鼓を打っていました。

東京都から会社の仲間6人で参加した栗橋さんは「天気は残念でしたが、雨の中を楽しく走れたことも、けがも無く無事に完走できたことも、一緒に行った仲間がいたからです。思い出になりました。来年も参加します」と満足した様子でした。



9月28日(土)、「中禅寺湖を眺めながら：秋さがしツアー」が行われました。

参加者は県内外から参加した12名で、涼しい秋の風を感じながら、中禅寺湖畔をのんびりと散策しました。ミズナラやブナなどの種子を観察したり、カツラの葉の甘い香りを嗅いだり、胞子が飛び出す



キノコを触ってみたりと、奥日光の秋を見つけて歓声を上げていました。最後に、参加者それぞれが見つけた秋をはがきに描き、一日を振り返りました。

柳信一郎さん(埼玉県)は、「派手な紅葉ばかりではなく、身近なところに小さい秋があつて感動しました」と話してくれました。

中禅寺湖を眺めながら：秋さがしツアー



9月29日(日)、中三依ふるさと広場で、山のもの何でもござるまつりが開催されました。

ステージでは地元バンドによるライブ演奏や三依小中学校の児童や生徒による獅子舞、書道家で市観光大使の涼風花氏による書道パフォーマンスなどが行われました。また、丸太切り競争やチェー

山のもの何でもござるまつり



ソーアートの実演も行われ、観客から声援を浴びていました。

会場には日光手打ち蕎麦の屋台などが出店し、来場者は思い思いに食とイベントを楽しみました。

阿久津さん(三依)は「子どもが獅子舞を披露しました。今日は晴れて多くの人に来てくれてうれしいです」と笑顔で答えてくれました。

月あかり花回廊



9月7日(土)~16日(月・祝)、鬼怒川・川治温泉郷で「日光四季祭月あかり花回廊第4章」が開催されました。

護国神社と温泉神社では、華道家の前野博紀氏による花の演出が行われ、境内にたくさんの美しい装飾や龍をイメージした巨大な装花が多くを観客を魅了していました。また、ステージでは琴やパイオリンのコンサートも行われました。藤原総合会館では、「とちぎのあかり展」が行われ、市内や県内の伝統工芸品などによる明かりなどが展示され、来場者は作品に見入っていました。

期間中、会場内の旅館やホテルなどに美しい花や明かりの芸術作品が展示され、会場全体が花と明かりに包まれました。

八島さんと根本さん(大沢)は、「とちぎのあかり展が素敵でした。もっと地元の人にも来てほしいですね」と話してくれました。



9月14日(土)、アジアリーグアイスホッケー日光シリーズ開幕しました。地元チームのH.C.栃木日光アイスバックス(以下アイスパックス)は、16日(月・祝)までの試合日程で、今シーズンから新加盟の韓国チーム、デミヨンサンムとの3連戦に望みました。

初戦と2戦目は、ともに終始バックスを支配しながらも、守り重

視の相手チームを攻略できず、それぞれ1対2、1対3で惜敗しました。

そして迎えた3戦目、アイスパックスは立ち上がりの悪さから2点を先制されましたが、第3ピリオドまでに同点とすると、試合終了間際1秒から飯村選手が打ったシュートが決まり、3対2で劇的な逆転勝利をものにしました。

日光観光物産市・グルメ市



9月21日(土)・22日(日)に、日光だいや川公園イベント広場で、日光観光物産市・グルメ市が行われました。

会場では、市内の物産品や、手打ちそばの実演販売など、出来たての「うまいもの」が売り出されました。

またステージでは、高根沢町の



和太鼓グループ「鼓蝶蘭」の演奏などが催され、来場客から大きな拍手を受けていました。

家族連れで来場していた小川さん(埼玉県)は、焼きたての卵焼きについて、「薄味ですが、のりの隠し味が効いていました。また食べたいですね」と感想を話してくれました。